



日本共産党文京区議会議員
まんだち幹夫 通信 **週刊**
 2012年3月16日号 No.234

'みなさんをいつもまんやかに'

区議団控室：5803-1317 (直通)

萬立幹夫事務所：文京区小石川2-23-7

・fax 3868-8355

メール：mandachi@jcp-bunkyojugidan.gr.jp

《このニュースは区議団ホームページ <http://www.jcp-bunkyojugidan.gr.jp/>でもご覧いただけます》

来年度予算審査特別委員会審議が終了

災害対策・保育園待機児ゼロ・特養ホームの増設 子どもと高齢者の医療費無料化をすえた予算求める

3月7日から始まった来年度予算審査特別委員会は14日、4会計(一般、国保、介護保険、後期高齢者医療)の審議が終了し、原案可決されました。

初日は、区議団を代表して初めて「総括質問」をしました。その柱は、消費税増税や社会保障の削減の「一体改革」のもとで、区として、災害対策に全力を、保育園待機児ゼロ、特養ホーム入所待機ゼロ、子どもと高齢者の医療費無料化へを正面に掲げて「必要充足・応能負担」の予算にすべきだ、と迫りました。

質疑の中で、区の姿勢が見えてきました。各部の予算を5%削減 具体的には、区民葬祭場の見直し(興善寺との契約をや



消費税はアップし、福祉は後退!?



める)、3人乗り自転車への補助半減、岩井学園の廃園、健康センターの休日夜間の閉鎖、特養ホームの宅配弁当事業の取りやめ、清掃車のリースの変更で経費削減などなど明らかになりました。また、予算に見合った実績が上がらなかつたら事業内容を改善するのでなくその分の予算を来年は削る...そんな手法の見直しをやるよう求めました。



子育て世代も直撃 年間で一か月の給料が消える

予算委員会で。

質問 年収400万円、夫婦、子ども2人家族の所得税・住民税の負担は来年度どうなる?

答 年少扶養控除は一人33万円(2人で66万円) その控除がなくなる結果、住民税は一律10%なので66万円の10%で66,000円。また復興増税(均等割りが10年間1000円増)を加えて67,000円負担増に。所得税もこのケースだと復興増税含めて68,400円の増です。

要するに、年間13万5千円の税負担が増える! のです。

消費税が10%になったら、さらに16万円増、生活設計が壊れる...こんな声が聞こえてきそうです。

共産党委員(私含め3人)は、保険料の値上げや制度の改悪を指摘し、4会計予算に反対し、「修正案」を提出しました。

12日 今日から予算委員会が3日連続します。一日終了した後、翌日の相談をしながらの夕食が楽しみです。

9日 予算委員会3日目。進行が予定より遅れ気味。質問中、「質問は端的に」委員長が口をはさみます。わかってますって、でもね。

10日 午後、東洋大学で行われた「震災一周年のつどい」へ。渡辺治一橋大学名誉教授の講演に、元気をもらいました。(内容は追って) 夜、会議

まんだち日誌

7日 今日から予算委員会。6日間シビクに缶詰状態です。5時に終わり、それから翌日の準備。ふだんと違う分野の質問なのでいろいろ資料に目を通したり。帰宅は、その日の内か日付が変わった後でした。